

市長の伊賀じまん



— 柘植駅近辺の鉄道文化 —

柘植にある余野公園は、5月にはつつじが咲き乱れる関西随一のつつじの名勝地で、公園の一角には蒸気機関車「D51・831」が展示されています。これは、昭和17(1942)年に製造されてから同48(1973)年9月までの間に、201万kmを走破した、この時代を代表する機関車でした。昭和49(1974)年から公園に設置され、当時を思い起こさせる姿を見ることができます。

柘植駅の近辺では、さまざまな鉄道遺産が今も見られます。明治21(1888)年、四日市に関西鉄道(株)が設立され、四日市・草津間の鉄道敷設工事を開始、翌年に上柘植字黒杭に柘植停車場が開設されました。これが現在の柘植駅で、三重県で最初の鉄道駅です。今ではローカル線のイメージがありますが、以前は幹線鉄道として蒸気機関車が走っていたのです。



柘植駅の西側には古いランプ小屋があります。建築年は不明

▲柘植駅近くに見られる古いレンガ塀

▶ 柘野付近を走る機関車。(昭和30年)



とされていますが、当時を偲ばせる貴重なものです。

さらに、柘植の小林にはおもしろいレンガ塀があります。病院だった家の塀で、赤い普通のレンガと、黒く火ぶくれしたレンガを組み合わせた意匠をこらした塀です。加太トンネルを作るときに周辺の山中でレンガを焼いており、その中の不出来だったものなどをうまく使って、塀にしたようです。

また、明治時代に作られた鉄道唱歌には柘植駅や伊賀上野駅が歌われています。

鉄道唱歌 <<関西線>> (抜粋)

- 十二 上野は伊賀の都会の地
春はここより汽車おりて 影もおぼろの月ヶ瀬に
梅みる人の数おほし
- 十四 伊賀焼いづる佐那具の地
芭蕉うまれし柘植の駅 線路左にわかるれば
迷はぬ道は草津まで

蒸気機関車は、機械ではあるけれどもどこか人間的な風情があって、郷愁や旅情を誘います。柘植駅周辺の鉄道遺産を訪ね歩いてみてはいかがでしょうか。

(伊賀市長 岡本 栄)

防災ねっと

子どものためにできること

乳幼児がいる家庭は、一般的な防災対策に加えて、少しの配慮をすることで安心して暮らすことができます。

○身のまわりの安全チェック

ベビーベッドの周囲や、子どもが普段遊んでいるリビングなどは整理整頓し、安全な空間をつくりましょう。

物を積み上げたり、家電などの重いものを高いところに置くのは危険です。また、万一のときにもガラスが飛び散らないようにフィルムを貼ったり、戸棚や引き出しが飛び出ないようにロックすることも大切です。

○食料などの必需品の用意

「わが家のオリジナル災害用品セット」の用意も安心につながります。(子ども用の一例です)

- ・ミルク(小分けのものが便利)
- ・調乳用の水(軟水かベビー用飲料水)
- ・哺乳瓶(使い捨てが便利) ・レトルトの離乳食、おやつ
- ・着替え(夏でも長袖、長ズボン)
- ・紙オムツ、おしりふき、ウェットティッシュ
- ・ごみ用ビニール袋 ・おもちゃ、絵本
- ・タオル、バスタオル(圧縮しておくのが良い。)



- ・薬、処方せん、母子健康手帳や健康保険証のコピー
- ※アレルギー対応品の準備も大切です。

○家族で防災会議

災害が発生したとき、家族が一緒にいるとは限りません。いろんなことを想定して話し合っておきましょう。

- ・家族の集合場所
- ・連絡方法(家族、実家、近隣、保育園など)

※災害時は、携帯電話が使えないこともあります。「災害用伝言ダイヤル」の使い方メモや、連絡先メモを用意することも大切です。

○避難するとき

ベビーカーなどで避難することは危険です。おんぶ紐、リュックサックを用意しておきましょう。

普段から、「もしものときを考えておくこと」が「子どものためにできること」です。

できることから始めましょう。

【問い合わせ】

総合危機管理課 ☎ 22-9640 FAX 24-0444

伊賀警察署だより



夏休みの少年犯罪被害の未然防止

夏休みは子どもたちが学校や勉強から解放され、思わぬ危険や犯罪の被害にあうことがあります。最近では携帯電話などの普及により、インターネット犯罪に巻き込まれるケースが後を絶ちません。

インターネットは携帯電話やパソコンのほか、ゲーム機や音楽プレーヤーからでも簡単に利用することができます。出会い系サイトを利用して、出会った子どもにわいせつな行為をしたり、裸の写真を送らせたりといった犯罪が発生しています。自分の子どもが犯罪被害にあわないためにも、次の対策を行いましょ。

○インターネット上で知り合った人とは会わないなど親から注意する。

○フィルタリングサービスを利用する。

○利用時間を決めるなど、家庭のルールを作る。

警察では少年や保護者から相談を受け付けています。

◆少年相談 110 番 ☎ 0120-41-7867 (通話無料)

【問い合わせ】 伊賀警察署 ☎ 21-0110

名張警察署 ☎ 62-0110

公共交通を利用しましょう

公共交通機関 利用促進運動 実施中！～7・8・9月～



『運転免許証自主返納者への路線バス運賃割引制度』をご存じですか。

近年、交通死亡事故に占める高齢者の割合や、高齢運転者による交通死亡事故の割合が増加しています。そこで、三重県交通対策協議会では、高齢者の交通事故防止につながる対策の1つとして、運転免許証を返納した高齢者への支援施策を検討し、路線バスを運行する各バス会社の協力を得て、運転免許証を自主返納した人で、運転経歴証明書を所持している人に、路線バスの運賃割引制度を実施しています。

運転に不安を感じながらも「移動手段が確保できない」などの理由から免許証の返納をためらわれている人は、一度、運転免許証の自主返納を検討してはいかがでしょうか。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

総合政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9672

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権はあいさつから ー下水道課ー

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

伊賀市は合併前から人権啓発学習に取り組んでいますが、現在でも差別事件は後を絶たず、人権問題がなかなか解決されていない現状があります。その原因の1つに人々の偏見や思い込みがあると考えるならば、人の認識や考えを変えることがいかに難しいかを痛感します。

今でも人権学習や同和問題研修と聞くと、難しく考えすぎて参加することに戸惑う人がいるようですが、人権とはそれほど特別なものではなく、普段の生活の中で当たり前のように存在するのではないかと思います。

人に会ったときは「おはよう」、「こんにちは」。頼み事をするときは「お願いします」。感謝を伝えるときは「ありがとう」。食事のときは「いただきます」、「ごちそうさま」。このように普段の生活の中で当たり前のように交わすあいさつには、相手を認め思いやる気持ちが含まれているのではないのでしょうか。

もっとも、当たり前すぎて、そんなことを考えることなく交わしていることも多いと思います。

こうした「あいさつ」も些細なすれ違いや、考えの相違による気持ちの摩擦によって、意図的に交わされなくなることはありませんか。そしてそれが原因で、人との繋がり自体が破綻してしまうこともあるのではないのでしょうか。これはとても寂しいことだと思います。報道される悲しい事件の中には、人との繋がりがなくなり孤立し、自分の思いを周囲に伝えることができなかつたことが原因だと思われるものもあります。

私は、人権問題を考える上で大切なことは、「相手を認め思いやる気持ち」ではないかと思います。一人ひとりが普段の生活の中で相手のことを認め、あいさつを交わす何気ない当たり前の行為の中に人権が存在していることに気づき、人権啓発の輪を広げていきましょう。

■ご意見などは人権政策・男女共同参画課 ☎ 47-1286 FAX 47-1288 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ